

茨城県民間保育協議会
青年部広報誌

礎

いしずえ

vol. 39

December 26, 2016

対談～初代青年部長小林正男先生に聞く
認定こども園について——現状認識における一定の到達点とは
論考「首都展開に秘められた狙いと仕組み」
四コマ保育漫画「あー！消えている！」
調査研究委員会 いばらき民間保育園就活応援セミナー考察
いばらき民間保育園就活応援セミナー参加者アンケート参加園調査集計結果（折込）
待ったなしの社会福祉法人制度改革への対応
子ども・子育て支援新制度における「小規模保育」について

日保協青年部 全国青年保育者会議岡山大会報告

私保連 青年会議全国大会おきなわ大会報告

渉外委員会・研修委員会 第3回青年部アカデミー報告～死亡事故・あなたの園ならどうしますか？

青年部主管 第3回・第4回いばらき民間保育園就活応援セミナー総括

地域と園の今後～映画「うまれる」自主上映会を通じての子育て支援活動

ちょっと一息「世界で一番わかりやすい おいしいお酒の選び方」

園で、家庭で、こころをそだてる絵本のたのしみ…♪

参考情報 光陰矢の如し あと3年3か月です…！各種経過措置



(写真提供：堀川保育園 堀川 宗愛)

対談

初代青年部長小林正男先生に聞く

子ども・子育て支援新制度の施行、社会福祉法人制度改革など保育をとりまく環境は大きな変革の時期を迎えている。そこで、本誌では民保協初代青年部長である小林正男先生と現青年部長の柳澤克彦により保育のこれまでを振り返りながら今後の展開について対談をしていただいた。

柳澤：小林先生、今日はお時間を作って頂きありがとうございます。

小林：こんにちは。柳澤君、今日の対談はどういう目的なのかな？

柳澤：実はこの度、青年部広報誌「礎」で初の試みとして、歴代の青年部長の先生方と懇談を考えてみたのですが、まずは、初代青年部長の小林先生にお話をお聞きしなくてはと思いました。

小林：そういうことならぼくはいつでもウエルカムだよ。

柳澤：それではまず、民保協青年部発足のきっかけを教えてください。

小林：なんだったか忘れたけど、保育団体の全国大会を大洗で、開催したことだと思うよ。当時も今と同じように保育業界の過渡期の真ただ中だったように記憶している。

柳澤：当時の雰囲気など覚えていらっしゃいますか。

小林：当時は、青年部発足当時だから青年部、親会というよりは、それぞれの先生方が協力して一体となって取り組んだような気がするな。当時の先生方は、とてもパワフルな方たちが多かった。今は分からないけど、行政の職員の方たちとも多く関わりがあって、青年部員と一緒に朝方まで飲み明かすようなこともあったよ。

柳澤：行政の方々も当時から民保協に協力的だったのですね。

小林：うんそうだね。当時からは、と民保協の先生方のスクラムはとても固かった。今もそうだと思うけど、行政、親会、青年部が互いの役割を自然に受け止めて取り組んでいた印象だね。今のように組織が確立しているわけではないから、荒々しい人間味のある熱い人たちの活動の場だった。切磋琢磨という言葉がふさわしかったね。

柳澤：保育に携わる者として大切なことはなんでしょう。

小林：当時も今もかわらないけど、保育に対して、子供たちの環境を整えるための「想い」じゃないかな。柳澤君はどう思うかい。

柳澤：全く同感です。保育に対する熱い想いを持ち続けることだと確信していますが、今日の対談でその思いを新たにしました。

小林：うん、若い人たちには守りに入らずにもっともっとチャレンジしてほしいな。

柳澤：小林先生、今日はどうもありがとうございました。

小林：うん、またいつでも話をしに来てよ。



民保協初代青年部長
五霞保育園長 小林 正男 先生



民保協現青年部長
国分台ふたば保育園長 柳澤 克彦

☑新制度への理解とは——

子ども・子育て支援新制度が施行され早2年目となりましたね。当初はかなり混乱も見られましたが、大分落ち着いて来たのではないのでしょうか。と思った矢先に今度は法人改革ですね。

皆さんはこの制度を完全に理解できていますか。と言う私も完全に理解はできていません。新制度自体はシンプルなものです。柱は「量」と「質」です。そして市町村が中心となって計画を立てていくということです。皆さんの市町村の子ども・子育て会議の進捗状況はいかがですか。そして認定こども園への移行はどうなっていますか。

認定こども園へ移行の現状——

市町村によってはこども園への移行を許可しないところもありますし、市町村より移行をお願いされるケースもあります。平成27年度には茨城県内でも比率では全国1位の勢いで移行が進みましたが、平成28年度に移行する園はあまり見られませんでした。

「新制度＝こども園」という図式がなんとなくあり、うちは関係ないと思っている保育園さんはいませんか？施設型給付を頂くということは、全ての施設で質が問われるということを忘れないで下さい。

☑処遇改善のうねり——

さて、皆さんの所の職員の給与はどうなりましたか。子ども・子育て支援新制度の「質」の部分にはこんなことが書かれています。

「幼稚園や保育所、認定こども園などの職員の処遇改善を行い、職場への定着及び質の高い人材の確保を目指します。」

東京では保育士の求人倍率が6.6倍であったと言われ、茨城県でも8倍を超えていたと言われています。処遇改善という名の下に初任給競争も激しくなりそうです。

ちなみに東京では、住宅費は1万円のみ本人負担、冷蔵庫・洗濯機は用意してくれるそうですよ。今回の新制度によりこども園へと移行した施設には、今まで以上の職員の確保が必要となりました。そして県内でも新設園や株式会社立の保育所が出来てくると、保育士不足に拍車がかかってくると思います。

☑「他の職種と比べて」で良いのか——

保育士の給与が低いのは何十年も前から言われています。どうしてこれまで手を打ってこなかったのでしょうか。それよりも他の職から比べると安いとか言われている時点でダメだと思います。保育士という職を確立させて他の職と比べられることのないように、処遇・待遇を見直していかなければならないと思います。

☑更なる変革の波が——

さて、これから大きな変革がまた起こります。平成28年5月に幼児教育振興法案が国会に提出されました。保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂が進んでいきます。保育所保育指針にも保育士の専門性の明確化や教育への言及がされてくるかもしれません。

ここ数年の動きは、大きな保育・教育改革です。この時代に生きるものとして、何を後世に残せるかの正念場ではないのでしょうか。

☑事務処理上の変化は——

27年度3月以降、加算分の請求で大変混乱していたと思います。それに合わせて人事院勧告分の給与改善が26年度と27年度と合わせてあった関係でより混乱していたのではないのでしょうか。この改善についても市町村によって対応は様々です。

こども園へ移行すると、様々なことに変化が起こります。これまで見たこともない、茨城県教育庁や、茨城県総務部総務課私学振興室といったところからメールや封書が届きます。教育施設としての調書や報告、助成金の案内など正直事務処理は多少面倒になっています。施設検査では会計の部分の書類提出が省かれました。

☑地域と施設の連携へ向けて——

また、子育て支援の取り組みが常態化され、子育て中や出産を迎える家庭はもちろんのこと、地域の人々と手を取り合い、子育て支援の核となって事業を進めていく事も必要です。

そして1号認定の入所により面白いことも起きています。いままで皆無であった苦情処理が増えてきました。これは非常に嬉しいことであります。いままで私達が見えなかった部分を教えて頂けることが増えてきたのです。これは施設にとって非常に有益なことだと考えています。

☑教諭免許状は大丈夫ですか——

さて、最後に皆さんの職員さんの教諭免許はどうなっていますか。平成以前に生まれた方は、すでに更新年を超えているか、もしくは間もなく更新を迎えられると思います。保育所に勤務されている方の幼稚園教諭免許は現在休眠中となっているのです。これがこども園に移行し、更新せぬまま教壇に立ってしまうとこの免許は失効となってしまいます。今現在何人の職員が更新を必要としていて、何人の職員がいつ更新を迎えるのかを把握して下さい。更新の窓口は意外と狭く、複数の職員の更新は苦勞します。移行した時に職員不足にならないよう準備をしておいた方がいいですよ。

論考

首都展開に秘められた狙いと仕組み

社会福祉法人清心福祉会
理事長 清水 利春

「首都展開に秘められた狙いと仕組み」というテーマを頂いた。非常に固いテーマであるが、自分なりに書いていきたいと思う。平成29年4月から当法人3園目となる認可保育園を東京都練馬区で開園する事になった。なぜ茨城県内ではなく新たに都内で事業を展開しようと思ったのか、それには大きく理由が2点ある。

法人の社会的使命——

1 点目は社会福祉法人という法人の性格を改めて考えた時、世のため人のためになるという明確な社会的使命があると思う。現在、東京都内では待機児童の問題が深刻であり、非常に多くの子育て世代が困っている。11月の現時点ですでに2回、入園事前説明会を開催したが、2回とも150名程度の参加者がおり、会議室が満杯で立ち見が出るほどであった。これから3回の説明会を追加で開催するが、特に0～1歳の子供を預けたい家庭が非常に多く、皆、真剣で本当に困っている事を実感した。社会福祉法人であるからこそ、社会的課題の解決に微力でも真摯に取り組むべきだと考える。同時に私自身の中では現状維持は衰退であると考え、拡大する事によるリスクももちろんあるが、挑戦する事により、自分自身や法人自体が時代に合わせて進化していかなければならないと思っている。ここ数年間、東京都での保育所整備事業の公募に挑戦し続けて来たが、全国から都内へ進出する法人が非常に多く、プロポーザルに当選するのは非常に難しくなっているとも感じる。東京都の審査基準は非常に細かく、開園以降も保育や経営自体の感覚をよりきめ細やかにしていかなければならない



とを感じる。そうした環境に身をおきながら、改めて現在の経営や組織の在り方、保育自体の見直しにも挑戦していきたいと思う。結果、更に園児や保護者にとってより良い保育事業が展開出来ればと考えている。

変化に耐え得る法人経営——

2 点目は東日本大震災であり、当時、全く保育園が開けられる状態ではなく復旧等にかかり時間がかかった。更にはひたちなか市でも緩やかではあるが、確実に人口が減るといふ事実があり、1市町村内だけで事業を展開するのではなく、経営上の地域的なリスク分散をしようと考えた。法人の一つの使命として、存続していく事が大きなテーマである。更には法人で働いて貰っている職員が安心して働き続けられる経営をしていかなければならない。現在、東京圏の人口は増加を続けており、一極集中が益々進んでいる。将来を予測しながら時代の変化に耐えられる法人経営をしていければと考える。他の地域でも経営する事により、今までの価値基準よりも幅広い物の見方とネットワーク、更には色々なアイデアが得られると確信する。

経営の根底にあるもの——

現在、社会福祉法人制度改革が進み対応に迫られているが、法人自体や自分自身も変化していかなければならない時代だと感じている。私が理事長になったのは37歳の時であり、父である前理事長から二代目の理事長として就任した。理事長就任後、法人自体の経営理念を作成したが、改めて、何のために法人が存在するのか、どこに向かって行くのかを考える良い機会となった。時代は今、地域から世界まで様々な問題や課題を抱えながら大きな変革の中にある。地域社会や国家の問題・課題から社会的使命を見出し、事業を通じてより良い地域社会の発展に貢献していきたい。世のため人のために尽くす心、それが人の原動力であり、感動を生む根幹である。「ありがとう」と心から感謝され、それがまた励みになる。その励みから明日の活力を見出していくことができるのだと確信する。世のため人のためになっているという実感をもって地域社会のより良い未来へ貢献していきたい。

四コマ保育漫画



境いずみ保育園 菊地 渉

今年度は、7月10日に土浦会場、8月28日に水戸会場で就活応援セミナーを開催した。土浦会場では32法人、水戸会場では36法人がブース出展し、参加した学生は両会場合わせて200人を超える過去最大規模のセミナーとなった。

■参加者アンケートから

集計グラフからも分かる通り、今年度のセミナーも参加した学生からはパネルディスカッション、個別保育園説明会ともに「参考になった」と多数の好評を頂くことができた。前年同様、「参考にならなかった」がほとんどなかったのはとても喜ばしいことだ。回答理由の記述欄でも「現場の生の声を聞くことができた」「様々な年代の方から話を聞くことができた」「園の特色や雰囲気を知ることができた」という回答が多く、職員と相対して話をする中で、有意義な時間を過ごせたことが窺える。

開催日時や場所に関しては、土浦会場は開催日が例年よりも一か月早かったためか、開催日の「遅い」回答は2%しか無かった。一方水戸会場は全体の20%が「遅い」と回答している。事前告知はちょうど良いという回答がほとんどだったが、今後開催時期をもう少し前にずらすのであれば、告知のタイミングも同程度前倒しする必要がある。開催場所については、土浦会場は駅から近かったこともあり、遠いという印象を与えなかったようだ。日時や事前告知について、次年度の課題の一つが明確になったと言えるだろう。

希望就職先、重視事項、情報の入手源については、過去とほぼ同じ割合になっている。ただ、今回のアンケートでは希望就職先に「認定こども園」、重視事項に「園長の雰囲気」を選択肢として追加している。子ども子育て新制度で本格的にスタートした認定こども園。移行している園自体はそれほど多くないが、学生の間でも認識が広まっているようで、幼稚園には及ばないまでもそれなりの回答数が得られた。重視事項の選択肢「園長の雰囲気」は、全体で見ても第3位の回答数となっ

た。職場で悩み事や困ったことがあったときなどに頼ることのできる人柄であるかということも、学生にとっては重要な点であるようだ。

■参加園調査から

今年度のセミナーでは、11法人の新規ブース出展があった。土浦、水戸の両会場で見られたのは「個別保育園説明会で訪れた見学者数」のみで、他はほぼ同じ割合の回答であった。差異が見られた設問に関しては、水戸会場の方が参加学生自体少なかったことや、ブース出展している園の所在地域を考慮すると致しかたない部分もあるかと思う。内訳は、土浦会場の「16人以上」回答が14、「1～5人」が3、水戸会場の「16人以上」が4、「1～5人」が13となっており、真逆である。なお、見学者数「0人」の回答は全て水戸会場であった。それにもかかわらず、「今後、このセミナーが開催されるならば参加しますか」という問いで「参加する」回答が100%だったのは喜ばしいことだ。

新設した設問では、過去のセミナーを通じて職員の採用につながったという結果を得ることができた。

■考察にかえて——まとめ

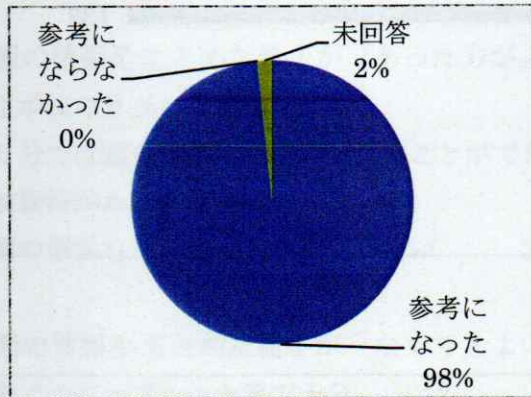
冒頭でも述べたが、今年度のセミナーは過去最大規模のものとなった。多くの学生に参加していただいたが、7月～8月は実習期間と被っており、参加人数が0人の養成校もあった。学生が就職活動を開始する時期は個人によって異なるが、養成校との連絡を密にし、実習の時期から外すなどすれば、もっとたくさんの学生が参加することができるようになるのではないだろうか。今後の課題の一つだ。セミナーの運営に関しては、参加者の移動時間を確保することや全体の時間配分なども課題である。学生と園側、双方にとってより充実したセミナーになるよう、検討を重ねていきたい。

(アンケート集計結果を折り込みました。併せてご覧ください)

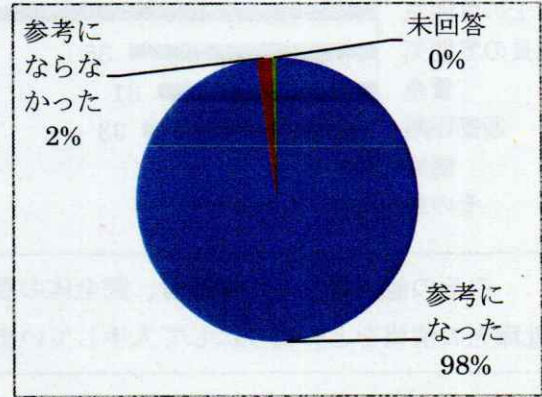
参加者アンケート集計

○ パネルディスカッション「先輩保育士と本音を語ろう」、個別保育園説明会は参考になりましたか？

パネルディスカッション

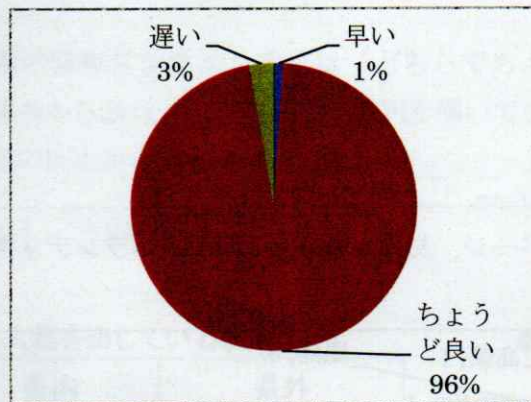


個別保育園説明会

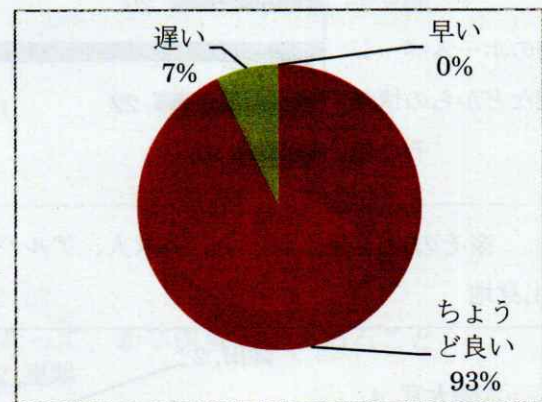


○ 今回の就活応援セミナーの開催日時・場所などについてはいかがでしたか？

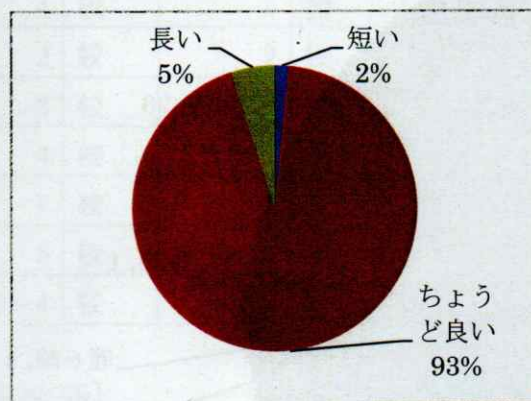
事前告知



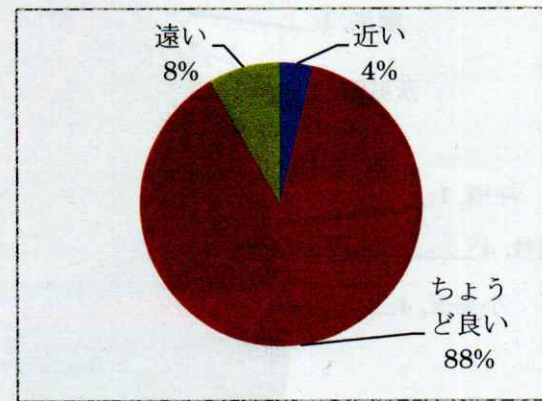
開催日



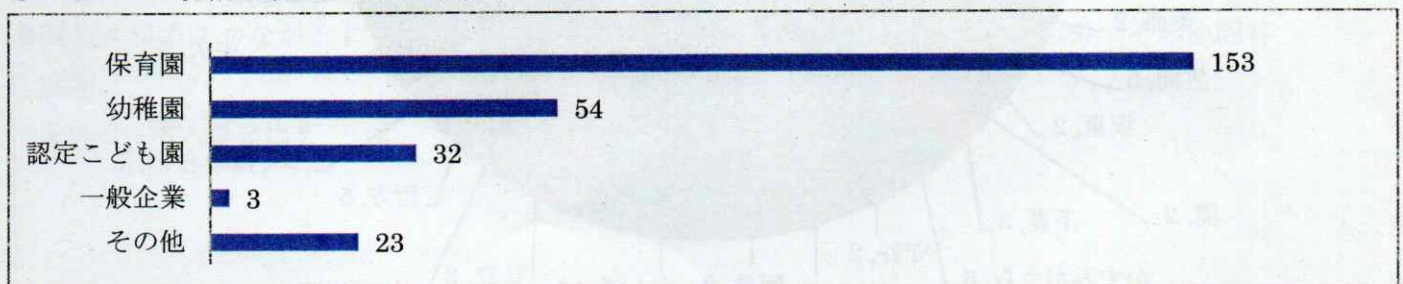
開催時間



開催場所

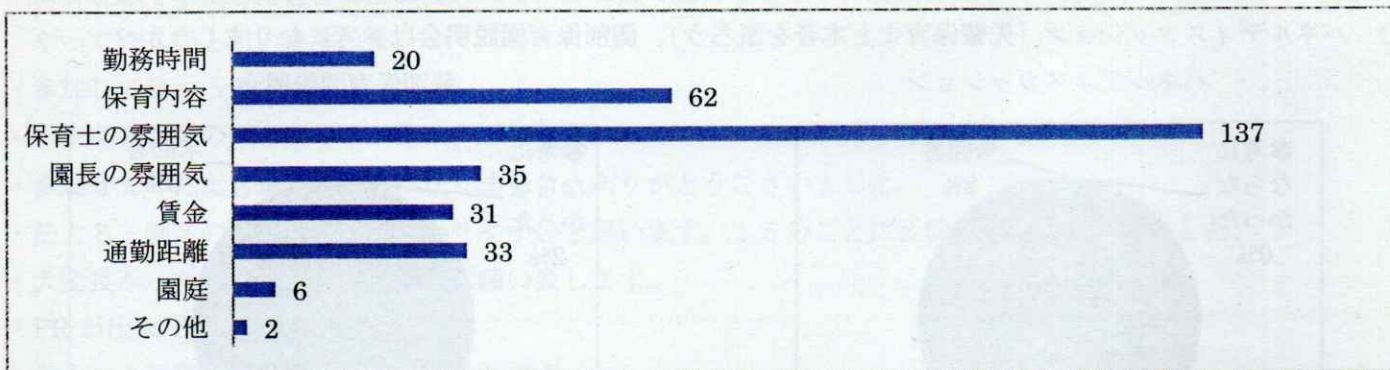


○ どこへの就職を希望していますか？



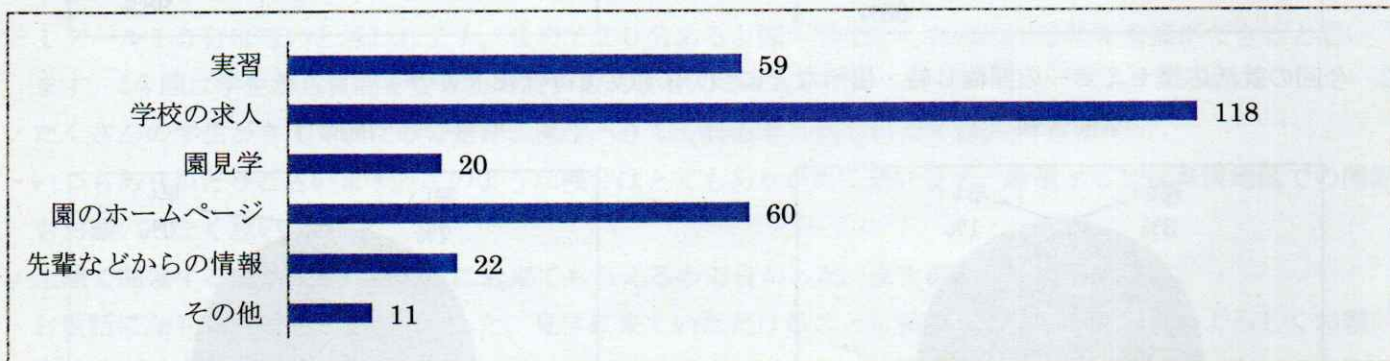
※その他回答 : 小学校、養護施設、特別支援学校、乳児院、託児所、介護施設 など

○ 就職先の条件で何を最も重視しますか？



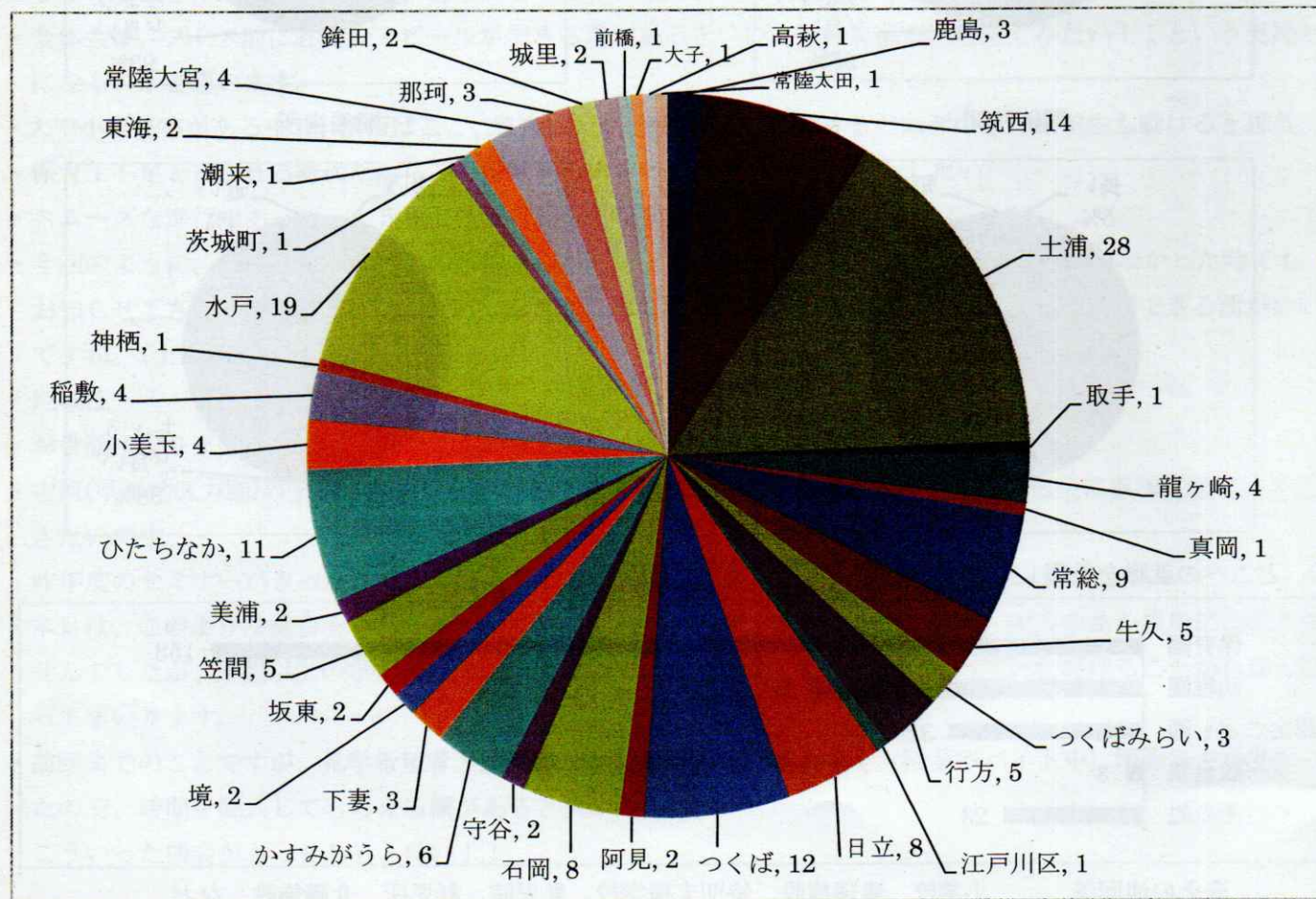
※その他回答 : 保護者、園全体の雰囲気 など

○ 就職先の情報をどのようにして入手していますか？



※その他回答 : ネット求人、アルバイト、タウンページ、友人、他のセミナー、ボランティアなど

○ 出身地



回答数 182 (男 23 : 女 159)

参加者記述回答まとめ

■パネルディスカッションが参考になった理由

- ・保育士として働く際に大切なことを現場の先生から学ぶ事が出来たから。 9
- ・現場の保育士の体験談など生の声を聞くことが出来たから。 62
- ・最後の質問の回答「1年目に大切なこと」が参考になった。 5
- ・現場の話が聞けたのはよかったが、本音というところで、もっと深いところを話してほしかった。 3
- ・本音を聞く事が出来、自分も頑張ろうと思える自信につながった。 5
- ・授業や実習中よりも細かく様々な話が聞けて、とても勉強になりました。 16
- ・様々な年代の方の意見を聞く事が出来たから。 17
- ・就職をするにあたって何を大切にしたらよいのかを知る事が出来たから。 2
- ・社会人の心構えを知る事が出来たから。 1
- ・男性保育士の目線や立ち位置を知る事が出来たから。 5
- ・就職へのイメージが膨らみました。 8
- ・現役保育士さんのお話しや、進行役の方などの仕草がとても参考になりました。 2
- ・回答が具体的でとても分かりやすかった。 5
- ・不安が解消された 1
- ・保育士の仕事の魅力を再確認できた。 3
- ・ピアノについて 2
- ・「保育士をやって絶対損はない」という言葉が印象的でした。 1

■個別保育園説明会が参考になった理由

- ・実際に働いている先輩の話聞く事が出来たから。 5
- ・それぞれの保育園の特色が感じられ、大変参考になった。 62
- ・写真や動画、パネルを使われていてわかりやすかった。 9
- ・とても丁寧に説明してくれたため 6
- ・パンフレットやHPではわからない園の雰囲気を聞く事が出来た。 19
- ・保育士の在り方について知る事が出来、参考になりました。 1
- ・実習先以外の園を知る事が出来たため。 3
- ・実際の園の雰囲気、先生の様子を知る事が出来たから。 11
- ・各園の様子を知る事が出来たので見学に行こうと思った。 7
- ・質問したことに答えてくれたため。 1
- ・自分のやってみたいことが明確になり、就職先の視野が広がった。 3
- ・直接話を聞く事が出来てイメージが広がりました。 1
- ・不安が和らぎました。 2
- ・少人数で説明を聞く事が出来たため。 3
- ・興味のある園に絞って聞く事が出来たため。 3
- ・色々な所に興味を持つ事が出来た。 10

■個別保育園説明会が参考にならなかった理由

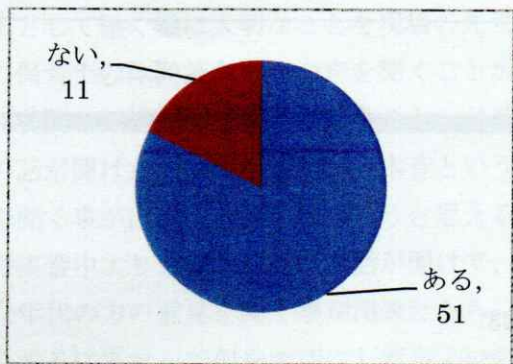
- ・就職は地元で考えているので参考にならなかった。 1

■感想など

- ・茨城の下の方でもぜひお願いします。
- ・就職に対する考え方を学ぶ事ができ、参考になった。
- ・個別保育園説明会の時間をもっととってほしい。
- ・パネルディスカッション、説明会、講演すべてが勉強になった。
- ・他の所も聞いてみたいと思った。
- ・個別保育園説明会の説明がわかりやすかった。
- ・セミナーを開催していただき、ありがとうございました。
- ・就職活動に対する不安が減少しました。
- ・それぞれの園の特徴や特権が知れてよかった。
- ・現場の先生の話を書く事が出来てよかった。
- ・参加園もとても多く、たくさんの説明を聞く事ができた。
- ・自分に合った幼稚園、保育園を見つけたいです。
- ・住んでいる地域よりも遠い園の話を書く事が出来てよかった。
- ・パネルディスカッションの質問時間が短い。
- ・とても楽しく参加する事が出来ました。
- ・就職についてよく考えるようになりました。
- ・パネルディスカッションの時間をもう少し取ってもらいたかった。
- ・定期的にやってほしい。
- ・龍ヶ崎の保育園の方のお話をもっとたくさん聞きたいです。
- ・パネルディスカッションがとてもよかったです。
- ・新聞の記事を見て参加をしました。潜在保育士、保育士試験の合格者（ピアノの件）むけの内容がほぼ新卒向けの内容でした。内容がなかった。
- ・いろいろな園をみる事ができるので、自分の就職したいと思える園が増えました。
- ・参加して良かったです！！
- ・各園の特色などカリキュラムを知ることができました。楽しそうな職場が多いのだと思いました。ありがとうございました。
- ・自分の住んでいる市の園をもっと来てくれると嬉しい。
- ・具体的な内容や本音などを聞くことができ、就職に活かせると思った。
- ・沢山の保育園を知ることができるいい機会でした。
- ・就職活動に対しての自分の気持ちを高めることができ、来て良かったです。井上真里さんの講義もとてもタメになりました。
- ・すごく参考になった。
- ・色々な園を知る良い経験になりました。
- ・園の写真やどのような活動に力を入れているのかわかるといいと思った。
- ・たくさんの園の話を書くことができ、参考になりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。とても参考になったセミナーでした。
- ・なかなか聞けないお話を聞く事ができて良かったです。
- ・地域毎での保育園が複数集まって話を聞ける良い機会となって良かったです。
- ・15分間だけでなく、もっと聞いてみたいと思う園がたくさんありました。

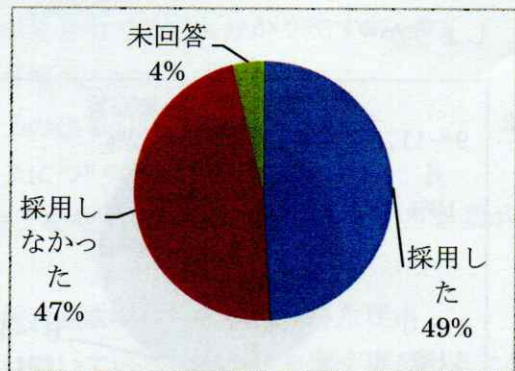
参加園調査集計結果

○ いばらき民間保育園就活応援セミナーに参加（ブース出展）したことはありますか？

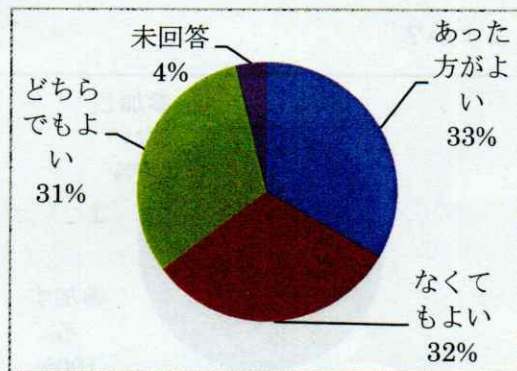


「過去にブース出展したことがある」のみ

○ 過去のセミナーを通じて採用した方はいましたか？

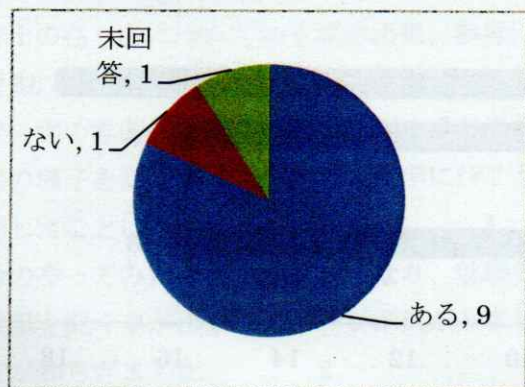


○ 今回は各園の情報をまとめた冊子を作成しておりませんが、いかがでしたか？

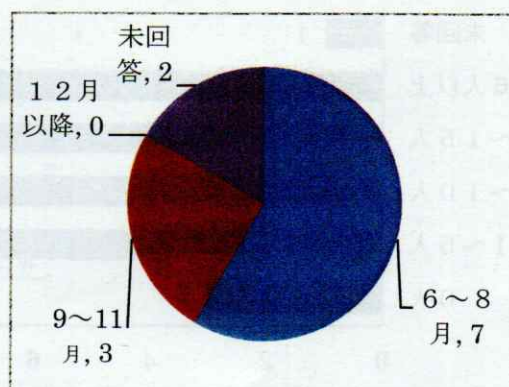


「過去にブース出展したことがない」のみ

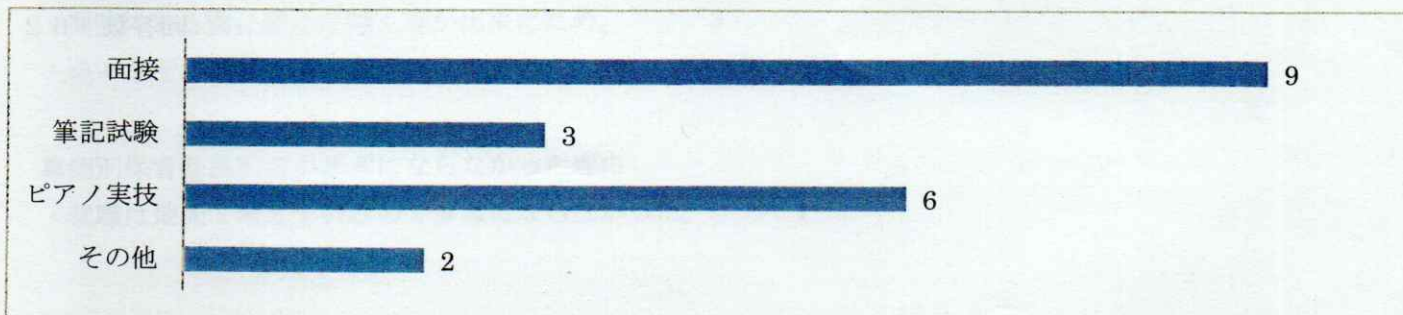
○ 貴園では現在、平成29年度の新卒職員の採用予定はありますか？



○ 養成校に求人票はいつごろ出していますか？

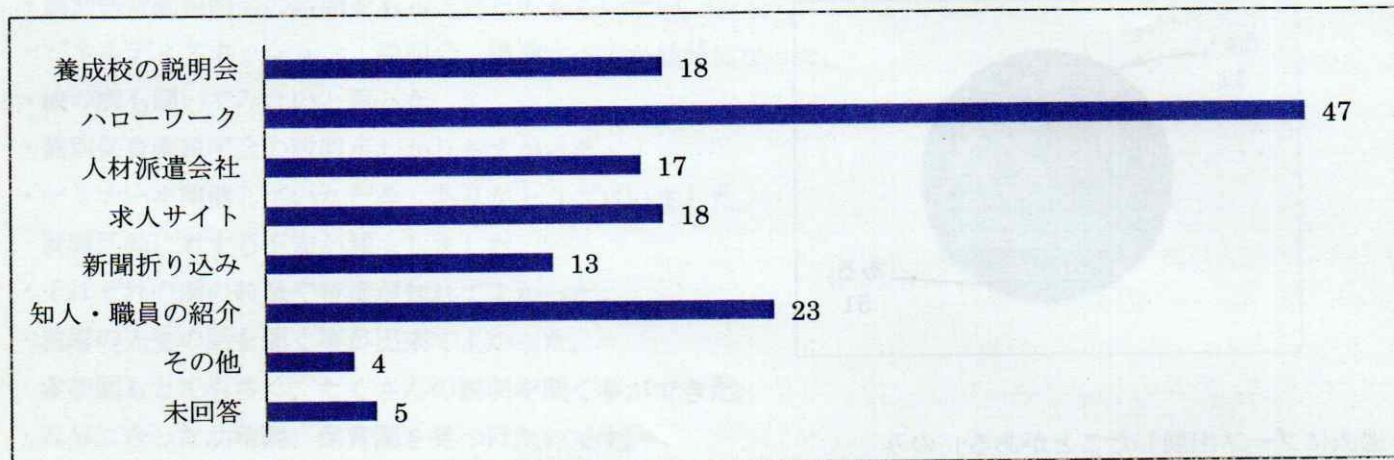


○ 採用試験ではどのようなことを行っていますか？

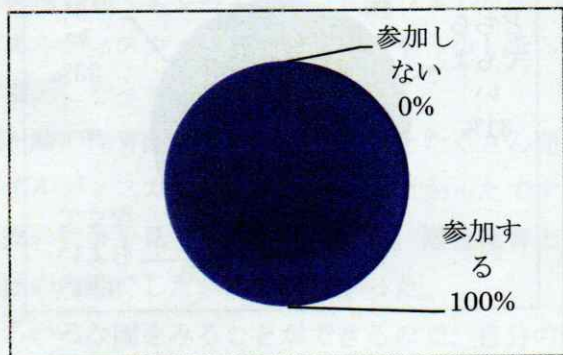


「過去にブース出展したことがある・ない」共通

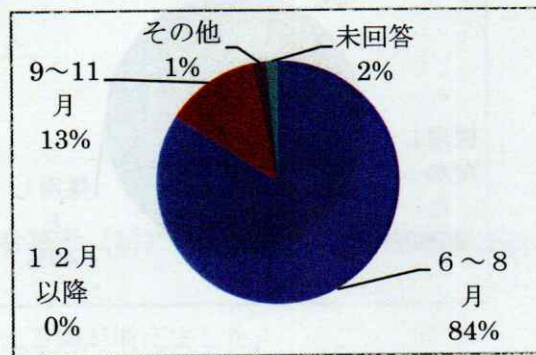
○ 職員の採用につながるような活動で、いばらき民間保育園就活応援セミナー以外のものがありましたらお答えください。



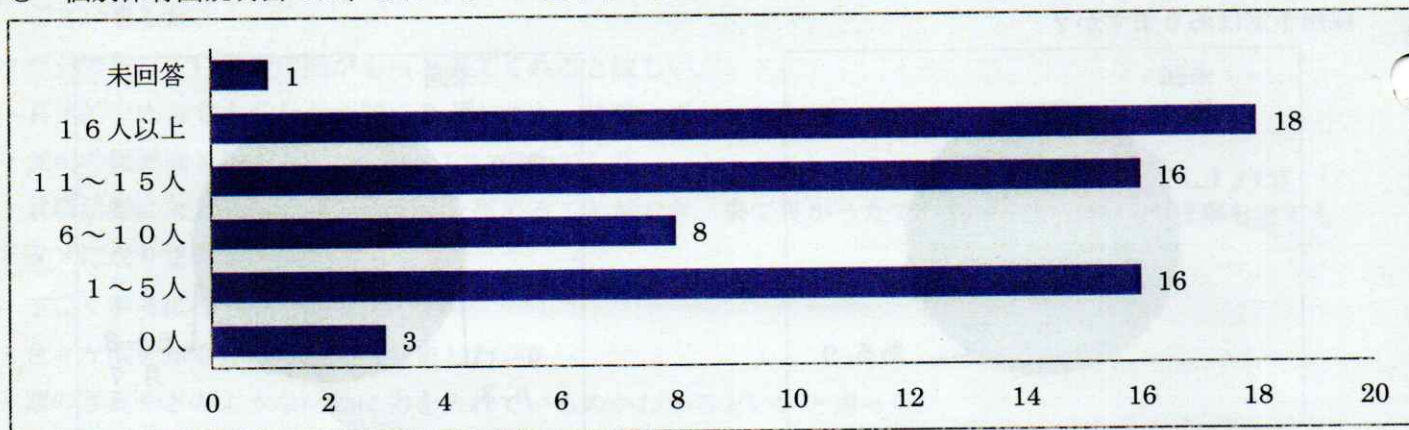
○ 今後、このセミナーが開催されるならば参加しますか？



○ 開催時期としては、いつ頃が希望でしょうか？



○ 個別保育園説明会では、どれぐらいの見学者が訪れましたか？



回答数 62

参加園記述回答まとめ

[表面]

◆各園の情報をまとめた冊子が「あった方がよい」理由

- ・学生が後で見返せるため 2
- ・15分では園の様子を学生に伝えることができない 1
- ・事前資料があった方がよい 2
- ・他園の情報も知りたい、参考にしたい 3

◆各園の情報をまとめた冊子が「なくてもよい」理由

- ・各園でのパンフレット等で十分 2
- ・紙ベースのものは極力控えた方がよい 1
- ・配布資料の一覧で十分 1

◆各園の情報をまとめた冊子は「どちらでもよい」理由

- ・興味のある園はブースを回って説明を聞いてくるため 1
- ・学生の反応がわからない 1

[裏面]

◆求人票を出している枚数

| 県内 | | 県外 | |
|-------|--|-------|---|
| 0 校 | | 3 校 | |
| 4 校 | | 5 校 | |
| 2 校 | | 2 校 | |
| 3 校 | | | 校 |
| 4 校 | | 1 校 | |
| 1 校 | | 2 校 | |
| 5 校 | | 7~8 校 | |
| 3~4 校 | | 2~ 校 | |

◆職員採用に当たって、新卒保育士に求めること

- ・元気・明るい
- ・子どものことを第一に考える
- ・社会人としての常識がある
- ・コミュニケーション能力が高い
- ・人柄
- ・意欲
- ・園の保育理念・方針を理解している
- ・基本的な技能が身につく、尚かつ積極性を感じる方
- ・社会人としての常識があり、人柄が良い人

[両面共通]

◆職員の採用につながるような活動で、いばらき民間保育園就活応援セミナー以外 その他回答

- ・実習 2
- ・養成校に求人票を出す 2

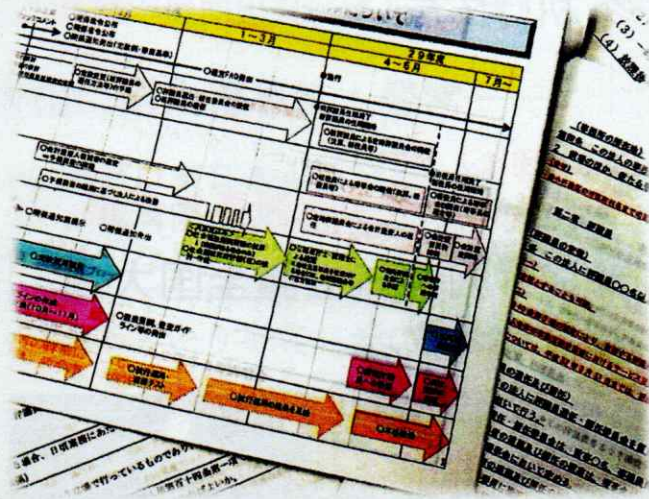
◆感想、ご意見

- ・保育を志す学生さん達と直接お会いして、保育園の紹介をしたり、質問を聞く良い機会だったので、今後もやってほしいと思います。
- ・参加して良かったです！！
- ・学生の方の生の声を聞く事が出来、とても良かったです。ありがとうございました。
- ・参加させていただきまして勉強になりました。ありがとうございました。
- ・法人名+園名の名札があるとわかりやすいと思います。15分ごとに区切って頂き助かりました。
- ・大変良かったので、またよろしくお願い致します。
- ・PRが出来て、大変良かったです。
- ・学生の入替え時間があると良かったです。
- ・来年も、県南地区開催希望。
- ・学生に学校名と名札をつけてもらいたい（可能であれば）
- ・1クール15分は短いと思われます。せめて20分あると園・学生とも余裕のある情報交換ができると思います。（今回は学生から質問を受ける時間が取れませんでした）
- ・たくさんの学生がきてくれたので是非、見学へきてくれるとうれしいですね。
- ・いつもありがとうございます。このような機会はとてもありがたく思います。希望としては県南地区での開催もお願いしたいと思います。
- ・土浦で開催することで、近くの方にも来てもらえるので良かったです。また開催してほしいです。
- ・お世話になりありがとうございました。見学に来ていただけることを願っております。来年もよろしくお願ひ申し上げます。
- ・学生の声を実際に聞く事が出来てよかったです。
- ・多くの学生さんが来ていただき、ありがとうございました。今後も宜しくお願ひ致します。
- ・全体会后、ブース前に各園のアピールができる場があるといい。それを見て、行ってみたい！！という気持ちになるのかと思います。
- ・大中小研修室がある中で、県西はここ、県央は・・・と地域ごとに分けるとムダのない様学生も動けると思う。
- ・保育士不足と言われる時代だからこそ意欲ある方とめぐり会うきっかけとしたい。
- ・スムーズな進行であった。15分だけだと移動の時間がないように感じた。
- ・今回のように、希望した学生さんの名簿を送っていただくと、ありがたいです。希望者がいなかった時でもお知らせ下さい。反省として来年度につなげられますので。全ブースが1つのフロアで設置できる所がいいですね。（土浦会場のように）
- ・地域性・・・しかたないですね。
- ・お世話になりました。ありがとうございました。
- ・古河(県西地区方面)の学生さんが少ないのか？見学者がおらず残念でしたが、またの機会に参加させていただきたいです。
- ・昨年度のセミナーがきっかけで今年度4名の方が入職されました。ありがとうございました。
- ・本日は、このような機会をいただきまして、誠にありがとうございました。昨年、遠方の為か採用には至りませんでした。予想以上の学生様が園見学においでいただきました。本園を知っていただけることからがんばってまいります。
- ・前回までのことですが、見学希望者と連絡がなかなか取れない事が多く（授業やバイト中）困ることが多かった。時間を記入してもらえると良いのでは。
- ・こういった機会がもっとあるといい！！

Urgent!

待ったなしの社会福祉法人制度改革への対応

泉ヶ丘保育園 渡辺 謙



平成28年11月11日、改正社会福祉法の施行に伴う関係政省令が公布され、同日、厚生労働省は、関連通知等を発出しました。

制度改革の柱は次のとおり――

1. 経営組織のガバナンス強化（理事長、理事に対する牽制機能の発揮）
 - ①理事の選任、解任や役員報酬の決定等、重要事項を決議する議決機関としての評議員会の必置。（小規模法人は評議員定数に経過措置有り）
 - ②役員、評議委員会、理事会の権限、責任に関わる規定の整備。
 - ③特殊関係者（親族等）の役員への選任制限に関わる規定の整備。

2. 事業運営の透明性の確保（財務諸表の公開等について法律上明記）
 - ①閲覧対象書類の拡大、閲覧請求者（国民一般）の拡大。
 - ②役員報酬総額（給与含む）、役員関係者との取り引き内容を含む財務諸表、現況報告書の公表。
3. 財務規律の強化（公正な支出管理の確保、内部留保の明確化）
 - ①役員報酬基準の作成、公表。（役員関係者への特別の利益供与を禁止）
 - ②福祉サービスに再投下可能な財産額「社会福祉充実残額」を明確化。
4. 地域における公益的な取り組みを実施する責務（他の主体では困難な福祉ニーズへの対応）

社会福祉事業を行うにあたり、日常生活、社会生活上、支援を要する者に対する無料又は低額で福祉サービスを提供する責務。

まだまだ書ききれませんが、ざっくりと社福制度改革の柱をまとめました。

昨今、一部の社会福祉法人による不適切な運営が指摘され、私たち社会福祉法人全体の信頼を失墜させる事態となっています。社会福祉法人が今後とも福祉サービスの中心的な担い手として在り続ける為には、地域、社会から閉ざされるのではなく、共に発展していくものとして社会福祉法人の在り方を考えていきたいと思えます。

先を読む

子ども・子育て支援新制度における「小規模保育」について

幼保連携型認定こども園 飯沼こども園 東ヶ崎 拓樹

当園の小規模保育事業A型のキッズルームiinuma（以下キッズルーム）は、飯沼こども園に隣接しており、3号認定の0～3歳未満児を対象にした定員19名で保育を行っています。

現在職員は、管理者1名、保育教諭8名（うちパート保育教諭3名）、看護師1名の総数10名行っています。給食は月曜日～土曜日の完全給食で、本園で作った給食（離乳食）をキッズルームへ運んでいます。

【特長】

少人数を対象としているため、手厚くきめ細やかな保育ができます。

乳幼児に必要な静かで落ち着いた環境の中で生活でき、また子どもの発達・成長とともに小集団を形成する環境が整いやすいなどがあげられます。

共有スペース（広いこども園の園庭やホールなど）があることで異年齢児との交流も図られほほえましい場面が見られます。



幼保連携型認定こども園飯沼こども園隣接の「キッズルームiinuma」

大きな行事である納涼大会、運動会、発表会はもちろん毎月の行事である誕生会なども本園と一緒に行うため、兄弟、保護者共に一緒に参加できます。

18：00以降は、飯沼こども園に移動し延長保育を受けられます。又3歳でキッズルームを終了後は飯沼こども園に移行し保育を引き続き受けることができます。

近年、母親が1年間の育児休業後の職場復帰が増えると共に、途中入園が多くなり需要がますます高まっています。

PICK UP!

研修会参加報告

社会福祉法人

日本保育協会青年部

第38回全国青年保育者会議 岡山大会



第38回全国青年保育者会議岡山大会（岡山ロイヤルホテル）は、『新時代の幕開け！響け「協創」のハーモニー～全てのモノやコトには不変の価値と新時代に応じて変化する価値がある～』をテーマに、平成28年9月7日～9日の3日間、岡山ロイヤルホテルを会場に開催された。実行委員長である西口元庸先生の力強い開会宣言がなされ、今年度より新青年部長となった静岡県の志賀口大輔先生からの新たな青年部への熱いメッセージをもって三日間の全国大会が幕を開けた。

開会式後の行政説明では、厚生労働省児童家庭局保育課より楠目聖氏を迎え、保育行政の動向の課題について説明して頂いた。

続く基調講演では、岡山大学大学院教授 高橋 敏之氏より、保育・幼児教育の未来への鍵と題して、幼児教育における知育についてのお話を伺った。

現代の日本での子どもの特徴を捉えつつ、自分たちの楽しみを優先する大人達との関係性から、育児による人格形成が非常に危ぶまれており、そこから保育のこれからの役割とはどうあるべきか、保護者、子ども、保育者に対してどのようにアプローチしていくべきかを深く考えさせられる内容となった。

一日目の情報交換会では、フルーツ王国岡山にふさわしく、食後のデザートとして、岡山県産の高級フルーツが各テーブルに振る舞われる事になったが、あの、口にしたマスカットの言葉にするには文字数が足りなくなる程の感動が、この大会を通じて最も衝撃的な体験となった。

二日目の基調講演Ⅱでは、「クリエイティブマネジメント～プロジェクトをクリエイティブに進めるために～」という題で、ユニクロやTSUTSUYA、セブンイレブン等、その成果

物を見ない日はないくらい世間に浸透しているクリエイティブプロダクション『SAMURAI』クリエイティブマネージャー佐藤悦子氏による講演が行われた。氏は常に「自分たちは何者であってどんな価値を提供出来るのか？」という命題と戦っており、そのお話から我々にも、そのような命題を強く意識する日々が近いうちにならざる事になる、これからどう動くべきか、という重要なヒントになったと思う。

2日目午後は、9つの分科会が行われた。芸術・文化を強く押し出している岡山の色が強く反映されたのか、ワークショップや、造形、アート等、クリエイティブな内容の分科会が多かった様に思える。

3日目には、全国青年部の活動報告があり、さらには記念講演と題して作詞家、アーティストとしても活躍する、中西圭三氏による講演が行われた。「おかあさんといっしょ」などでも楽曲提供をしており、大人から子どもまで馴染みのある曲を幅広く提供している。演目も「ばわわぶ体操」「ぼよん行進曲」「タイミング」「Woman」等、著名な曲を披露し会場を大いに盛り上げた。参加していた渡辺先生（泉ヶ丘保育園）は講演前「この人知らないんだよなあ」と乗り気ではない様子であったが、講演後「全部知ってた!!!」と興奮した面持ちで講演を振り返っていた。

そんな興奮が残る中、閉会式が行われ、次回、第39回全国青年保育者会議静岡大会の実行委員長太田嶋先生に大会旗が引き継がれ、今回の大会は終了となった。

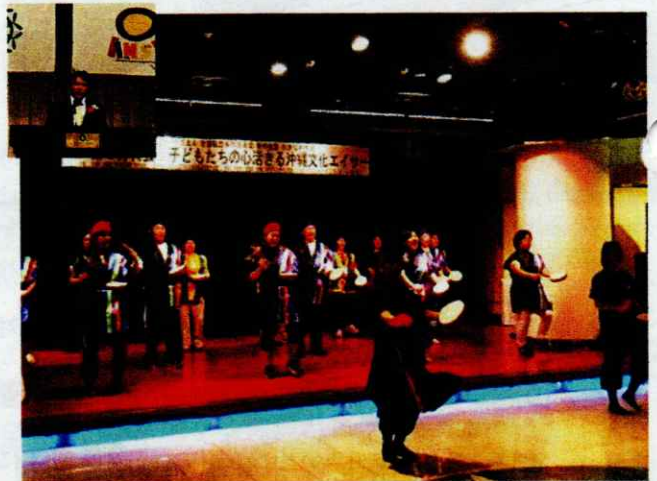
初日の懇親会で食べた、あのマスカットの感触が口の中にまだ残っている、例えるならばそんな大会であったように思える。

（大宮聖愛保育園 後藤貴哉）

公益社団法人

全国私立保育園連盟青年会議

第36回青年会議全国大会 おきなわ大会



大会当日は、沖縄では観測史上最も長い「真夏日」を更新した日でした。

初日の行政説明では、保育所保育指針の改定等に関する中間報告がありました。0～2歳児を中心とした保育所利用児童数の増加や、共働き家庭を取り巻く環境など、保育指針が改定された平成20年以降の保育や子育てをめぐる状況の大きな変化に対応し、「乳児・1歳以上3歳未満児の保育に関する記載の充実」「保育所保育における幼児教育の積極的な位置づけ」等、保育課程の編成や、保育の内容を支える運営に関する事項について、幼保連携型認定こども園教育・保育要領や幼稚園教育要領との整合性を図り、本年度内における最終報告の取りまとめ、平成30年度の施行が予定されています。

また、それと並行した課題として、職員の資質・専門性の向上について、保育士のキャリアパスの明確化を図るための研修体系や研修システムの構築について調査報告があり、年内には調査研究協力者会議の最終まとめを踏まえたシンポジウムが開催されます。

私の参加した分科会では、「子どもたちの心活きる沖縄文化～エイサー～」と題し、前半は沖縄キリスト教短期大学教授の山城真紀子氏のご講義と、後半では、海外でも活躍されている「琉星太鼓」の皆さんからエイサーの実技指導を受け、最後にはグループに分かれての発表もいたしました。

沖縄は、置かれた厳しい自然や地理的環境、歴史的背景など、古くから本土とは異なる独特の社会や文化を築いており、学校教育の「体育」教科としてではなく保育園・幼稚園などでも保育教材として実践しています。また、今回の会議と同じ日程で「第6回世界ウチナーンチュ大会」が盛大に開催されていて、沖縄県の貴重な人的財産である世界各地の移民（県系人）たちの功績を称え、ウチナーネットワークの確立と発展のために次世代へ継承し、他者や他文化を大切にしている県民性の姿にも改めて深く感動しました。

（つくし学園 鬼澤 英二）

実施事業報告

茨城県民間保育協議会青年部
渉外委員会・研修委員会

第3回 青年部アカデミー報告 ～死亡事故・あなたの園ならどうしますか？

去る平成28年12月9日（金）、ホテル・ザ・ウェストヒルズ水戸に於いて、第3回青年部アカデミー～死亡事故・あなたの園ならどうしますか？～が総勢33名の参加を持って開催されました。

Part1研修会では、講師に弁護士高田千鶴氏をお迎えし、我々保育業界で一番起きてはならない、そしてどの園にも起こり得る可能性のある死亡事故を題材に講義をしていただきました。死亡事故という切り込んだ内容でしたが、いざ講義に参加してみると、いつでも隣り合わせの死亡事故について、考えているようで考えていなかったとしみじみ実感させられました。

リスクマネジメントは普段から死亡事故に係わらず、子ども達に起こり得る様々な事故や危険から回避できるように対応しています。しかし、事故が起こったときのクライシスマネジメントについてはリスクマネジメント程、強く意識していませんでした。改めて起きてしまった非常事態の被害を最小限に抑える対応手段を勉強しなければならないと重く受け止めました。講義が終了時刻になったとき、もっと話を聞きたいと思いました。とても内容の濃い有意義な時間を過ごすことが出来ました。

Part2第3回・第4回いばらき民間保育園就活応援セミナー反省会では振り返りムービー、懇親を深めるゲームの開催などメンバー同士の信頼が深まり次へ繋がる楽しい反省会になりました。

(認定こども園大野めぐみ保育園 中西 良環)

茨城県民間保育協議会
青年部主管

第3回・第4回いばらき民間保育園 就活応援セミナー総括



今年度は新たな試みとして日程・地区を2つに分け、7月10日（日）土浦会場（茨城県県南生涯学習センター）・8月28日（日）水戸会場（茨城県総合福祉会館）にて行いました。参加者総数は219名（土浦128名・水戸91名）ということで過去最多となり、また参加法人についても新たな法人にも多数ご参加頂き、セミナーの認知度上昇と共に必要性を実感するようになりました。

ただ、保育士不足はより厳しい状況であり、県内外から悲鳴のような声が聞こえてきております。たった一人のブログのコメントにより、更なる処遇改善費アップにつながるようになりましたが、逆にネガティブなニュースの方が多く社会に伝わる状況ともなりました。新卒の半分は保育士の仕事に就かない、潜在保育士が約76万人いるという現実、我々が置かれた状況はかなり厳しいと言えます。そこに拍車をかけ、社会全体の労働力不足、東京都では財源を注ぎ、保育士不足解消に向けて本気で取り組もうとしています。

では私たちにできることはないのか？私はそうは思いません。財源には限度がありますが、労働条件・労働環境・職場の人間関係の改善など取り組めることがまだまだ沢山あるかと思えます。そのような改善に向けた取り組みをしている姿をまた来年度のセミナーにて、皆さんから保育士を夢見る学生、もう一度保育士にチャレンジする方へ発信して頂けるとこのセミナーの目的が達成できるかと思えます。引き続きのご理解、ご協力をお願い致します。

(まつやま大宮保育園 松山 圭一郎)

映画「うまれる」自主上映会を通じての地域子育て支援活動

小山保育園 逆井 康志



去る11月12日に映画「うまれる」の自主上映会を開催しました。坂東市内の全ての保育園、認定こども園の協力を得ることができ、有料の上映会ではありませんでしたが、来場者は300名を超えるものとなりました。

私自身はもともとハリウッド映画のようなド派手な映画が好きで、映画「うまれる」のようなドキュメンタリー映画には、それほど興味はありませんでした。しかし、映画の予告をインターネットやYouTubeで見ると、この映画を「現役」子育て世代だけでなく「未来の」子育て世代である中高生にもぜひ観てもらいたいと思うようになり、また、妊娠や出産だけをとりあげたものではなく、流産や不妊、また、障がいを持って生まれた子の親にとつての、それぞれの「うまれる」を撮影した映画です。地域の子育て支援として、この映画の自主上映会を坂東市内の子育て支援活動として、企画できないか検討しました。

当初は坂東市内のすべての子育て支援セ

ンターでの共催事業として企画したのですが、万が一の事故での責任の所在が不明確になってしまうために、各園には協力園となつていただくことで、責任の所在を明確にしました。協力園には、チケットの販売や、当日の運営ボランティアとして協力をいただきました。坂東市内のすべての子育て支援センターが協力することで、坂東市や市教育委員会等の後援がスムーズに取れました。

自主上映会を準備するために、当園の子育て支援担当を中心とした運営委員会を作り準備を始めました。まず、7月につくば市で自主上映会があったので、主催者にお願ひしてボランティアで参加しました。つくばでの上映会では、監督の講演会もあり講演会終了後に監督へアピールすることもでき、11月の上映会でも監督の講演会が実現しました。

いよいよ坂東市自主上映会に向けて、チラシを各園や市教育委員会を通して全ての子育て世代に配布し、また、ポスターやチラシを市役所の商工観光課を通して商店街に配布掲示して頂きました。

当日に向けて上映環境も考えました、一般の方と母子が一緒に会場では、子供が映画に飽きてしまったり、眠くて泣く等、母親が落ち着いて鑑賞できないことが予想されるため、一般の方向けの会場とは別に母親と赤ちゃんが一緒にゆったりと気兼ねなく鑑賞できるように「ママさんタイム」用会場を作り、母親同士が集まることで、お互いに気兼ねなく鑑賞できるように配慮した。会場には各園の子育て支援センターのPRパネルを作って掲示しました。

上映会当日は、映画を観て感動し、涙を流す方も多く、来場者からは、もっともつ

とたくさんの方にこの映画「うまれる」上映会を観てもらいたいという意見が多く寄せられました。上映会に引き続いての監督の講演会は、対談インタビュー形式で、楽しく、あつという間に時間が過ぎたように感じられました。

この自主上映会を通して、坂東市内のすべての子育て支援事業所が協力し合う体制ができたと思います。また、市内住民に子育て支援センターの活動を広くPRできました。加えて、収益金を活用して学校教材用「うまれる」DVDを購入し、坂東市を通して市内中学校4校に寄贈することができました。

最後に、たくさんの方の理解と協力が行えた事業です。このような事業を通じ、市内全体が一体となった子育て支援活動が行われることで、子育てに迷ったり困っている家族を応援することができたと思います。また、未来の子育て世代が、子育てすることを楽しみにできるような支援をすることも、今後の支援センターの大切な役割ではないかと考えます。



ちょっと一息...

「世界で一番わかりやすい おいしいお酒の選び方」

こぼと保育園 安藤 伸泰



山口直樹著 (ディスカヴァー携書)

これからの時期忘年会や新年会などでお酒の席が増えてくると思いますが、とりあえず乾杯のビールの後せっかくですからいろいろなお酒を

試してみてください。

先日、書店へ行った際レジの近くに積んであったのでパラパラと読んでみたところ、普段難しくてなかなか良くわからないワイン・日本酒・カクテルをわかりやすく説明していたので購入してみました。

赤ワインは5種類、白ワインは3種類のブドウを覚えておけばOKや、コーヒー派・紅茶派をチャートで進んでいき好みのワインがわかるので、自分の好みを知り普段と違つたお酒に挑戦できるかもしれません。

また、日本酒はさらに難しく悪酔いをするイメージがあるので、なかなかチャレンジするのは勇気がいるお酒ではありますが、ワイン同様チャートや好きなビールの種類から自分の好みに合った日本酒を探すことがで

きます。

それと、日本酒は悪酔いする理由として飲みやすく量を飲んでしまうからだそうです。

対策としては日本酒と同量の水を飲むと次の日に残らないようです。

本の中にはそれぞれのお酒に合うおつまみなどもいろいろ紹介されているので試してみてください。

忘年会・クリスマス・新年etc... お酒の席が増える時期ですがこれを読んで今までと違つたお酒を飲んでみてはいかがでしょうか？

自分に合ったお酒を見つけ、適量を守つて二日酔いにならないよう注意して下さいね。くれぐれも飲酒運転は厳禁です。すべてを失つてしまわないように！気をつけましょう。

園で、家庭で、こころをそだてる 絵本のたのしみ…♪

つくば保育園 滝田 昌弘



<おふろだいすき>

おふろで繰り広げられる、楽しいファンタジー。子どもの空想をそのまま抜き出したようなお話です。

次々におふろから現れる動物たちはみな個性的で人間味があり、名脇役を演じています。林明子さんの柔らかな絵のタッチがおふろにぴったりです。どんどん広がるお話ですが、あたたかいおかあさんのタオルが終着点。

温かい気持ちで読み終えることができます。おふろが待ち遠しくなるお話です。

作：松岡 享子 絵：林 明子 出版社：福音館書店

<100万回生きたねこ>

100万回も生き返っていろんな飼い主に愛されてきた経験を持つねこのお話です。

主人公のねこは、これまで一度も自分を好きになったことがありませんでした。そんなねこが、たった一匹の白ねこに出会い愛し愛されました。さて、その後どうなったでしょう。この本は、「だれかを愛せるといのは幸せなことだ」と教えてくれます。それは、夫婦でも、親子でも、同じことです。絵本ですが、大人向けの深いお話です。



作・絵：佐野 洋子 出版社：講談社



<さむがりやのサンタ>

コミックのようなコマ割りで表現した、サンタクロースのおじいさんの一年で一番忙しい一日の物語です。

朝起きてから、夜ベッドに潜りこむまでの行動ぶりが楽しいイラストで描かれます。部屋の中、町の様子など、細かく描写された背景のイラストにさまざまな発見があります。また、おじいさんの持ち物、食べ物、口調、表情、しぐさから、その人柄が愉快地浮かび上がり、こんなサンタさんがいたのか……と思わず笑いがこぼれてしまいます。大人が見ても、ほっと楽しめる絵本です。

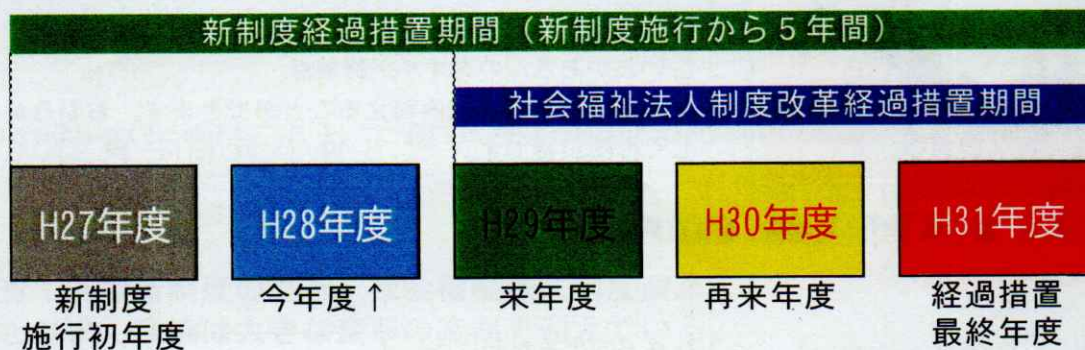
作・絵：レイモンド・ブリッグズ 訳：すがはら ひろくに 出版社：福音館書店

光陰矢の如し…

あと3年3か月です…！

平成31年度末（H32.3.31）で終了する新制度等における経過措置の例

- 幼保特例制度による保育士資格取得
- 幼保特例制度による幼稚園教諭免状取得
- 幼保連携型認定こども園におけるみなし保育教諭の特例
- 放課後児童支援員の研修終了予定者の特例
- 社会福祉法人制度改革における評議員の員数の特例



幼保特例制度による資格取得には、実務年数が3年以上かつ4,320時間以上という条件があるため、保育士資格か幼稚園教諭免状のどちらかのみを保有しているが、実務経験の全く無い方が特例制度を利用して他方の資格を取得しようとするときは、余裕をみて、今年度末までには、実務経験を開始する必要がある。

経過措置期間経過後は、幼稚園教諭免許状が有効な状態であり、かつ、保育士資格を有していないと、経過措置期間中に一方の資格のみで保育教諭となった者は保育教諭の職を失うことになる。幼稚園教諭免許状の更新制度との関係で特に注意が必要。

経過措置期間経過後は、放課後児童健全育成事業（学童保育事業）において、少なくとも一人は放課後児童支援員研修を修了した有資格者を置かなければならないので、計画的な研修の受講が必要。（保育士資格、幼稚園教諭等の資格があっても、研修を修了していないと放課後児童支援員を配置していると認められなくなります。）

（真壁保育園 長谷川 夏生）

「礎」第39号 編集委員（茨城県民間保育協議会 青年部広報委員会）

| | | | | | |
|-----------|--------|---------|-------|---------|--------|
| 旭保育園 | 浅倉 涼二 | 大宮聖愛保育園 | 後藤 貴哉 | 玉里第二保育園 | 戸田 見良 |
| 勝田あすなろ保育園 | 大谷 美和子 | ほうとく保育園 | 桜井 みな | 串挽保育園 | 山崎 公蔵 |
| さしま保育園 | 中川 祐一 | つくば保育園 | 滝田 昌弘 | 真壁保育園 | 長谷川 夏生 |